

# カントリーリロード

緑のふるさと協力隊員 神東美希の奮闘記

6

私がいつも乗っている車（通称、協力隊号）は白の軽ハコで、車体にはデカデカと「緑のふるさと協力隊」というステッカーが貼ってあります。おかげでどこに停めていても、どこを走っていても「あっ、神東さんだ！」と気づかれてしまいます。これじゃ、悪いことでは

ありません。

そんなある日、諸事情により協力隊号を修理に出し、2週間ほど代車に乗ることになりました。代車生活のなんと快適なことか！どこを走っていても誰も私だと気づきません。しめしめ；別に悪事を企んでいるわけではありませんが、開放的な気分になり浮かれていました。

しかし、そんな心境も1週間を過ぎると変化が。以前なら車を

れ違いざまにクラクションを鳴らしたり手を振ってくれた人たちも、みんな素通りしてしまいます。だんだんと「気づかれない」ことがさみしく思えてきたのです。町内のどこにいても誰かが見守ってくれているような気持ちになる協力隊号。「緑のふるさと協力隊」のステッカーは一種のお守りのようなものだったんだと。改めて、そのありがたさに気づかされたのです。私の活動を支えてくれる協力隊号、これからも君を大事にするからね。

先日、愛媛から友達が遊びに来ました。どこまでも広がる茶畑を見て感動したり「コンビニはあるのか。ファミレスはあるのか。ユニクロはあるのか」と率直な質問を投げかける友人の姿に、数カ月前の自分を重ねていました。私だつて4月に本町へ来たときは茶畑を見て感動したし、いろんなことが新鮮に映ったものです。それが8カ月以上もここで暮らしていると、いつの間にか当たり前の風景になってしまったことに気づきました。これは私にとって是由々

## A Country Road

しき事態です。本町の暮らしに慣れるのはいいことですが、いつまでも『ヨソ者』の視点を失ってはいけないと思うからです。本町の皆さんはどうですか。皆さんの家の茶畑が、人の心を揺さぶるほど魅力ある風景だということに気付いていますか。

「ヨソ者」である私の役目は「川根本町の魅力を再発掘し、町内外の人に伝えていく」ことでもあると、思いを新たにしました。

皆さん「カントリーロード番外編」をご存知ですか。広報に書ききれないアレコレをつづつて、月に一度、回覧板で配布しています。ちよつと気にかけて読んでいただけるとうれしいです。

いよいよ年末。「去年の今ごろは何をしてたかな」と振り返ってみると、仕事に追われて大忙しで、まだ「緑のふるさと協力隊」の存在さえ知らなかったことを思い出しました。恐るべし、行き当たりばつたりのわが人生！

年末年始も愛媛に戻らず川根本町を満喫する予定です。オススメ情報をお待ちしています。



神東美希（かんとみき） 愛媛県伊予市出身 緑のふるさと協力隊員第18期生  
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。  
農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美希さんは、本町5代目の隊員。



ブログ「徒然かつこin川根本町」執筆中！ <http://katsuko-topparohey.seesaa.net/>

